

財務状況

・ 概要

新型コロナウイルス感染症がいまだ終息の見通しが立たないなか、本学園は 2021 年度においても、主たる収入である学生生徒等納付金が伸び悩む一方、支出においては、施設・設備の維持・管理・更新等の教育・保育環境整備に要する経費のほか、コロナ禍への対応として、引き続き感染防止に係る経費やオンライン授業実施環境の拡充、学生、生徒への経済的支援など一定の支出規模があり厳しい収支状況ではありましたが、経常収支差額比率は本学園の中期計画の目標値である 5 %をやや上回る 6 %となりました。

支出面では、引き続き感染防止対策として各部門へ非接触検温モニターや二酸化炭素濃度測定器など感染防止関連資機材の配備や大成学園幼稚園のトイレ増設など施設整備を推進し感染防止対策の徹底に努めてきました。

また、オンライン授業に必要な教育環境整備として、大成女子高等学校の各教室に大型モニターを追加配備したほか、額田保育園に WiFi・通信機器を整備し園舎に入れない保護者への情報発信など ICT 化の推進を図りました。

学生、生徒への経済的支援としては、茨城女子短期大学において、2020 年度から開始された国による高等教育修学支援制度のより一層の周知・徹底により授業料等の減免や給付型奨学金の支給を継続的に行うとともに、大成女子高等学校においても引き続き授業料の減免など、経済的に不安を抱えた学生、生徒が学修、授業に専念できる環境を整えてきました。

・ 資金収支計算書

資金収支計算書は 1 年間の活動に対応する全ての収入と支出の内容を明らかにして支払資金の顛末を表します。この計算書には当該会計年度に関係ない取引が入っていますので、調整勘定で資金の収支が修正されます。

主な収入項目である学生生徒等納付金収入は 6 億 9 9 3 万円で、前年度比 1, 645 万円の増加となりました。

一方で、補助金収入は、9 億 6, 064 万円となり、前年度比 775 万円の減少となりました。

また、支出項目の入件費支出は9億8,547万円で、前年度比9,608万円の減少となりました。これは退職金支出額の減によるものです。

教育研究経費支出は2億2,966万円、前年度比2,099万円の増加となりました。

一方、管理経費支出は1億6,408万円、前年度比409万円の減少となりました。

施設関係支出は2,642万円、前年度比1,341万円の減少となりました。

翌年度繰越支払資金は、前年度より2億1,818万円増の18億7,071万円となりました。

- ・事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにするためのものです。

2021年度の事業活動収入は16億5,949万円、事業活動支出は15億4,473万円で基本金組入後の当年度収支差額は8,831万円となっています。

- ・貸借対照表

貸借対照表は年度末の財政状態を表します。

また、資金収支計算書や事業活動収支計算書は単年度の計算書ですが、貸借対照表は法人化以来の累積の残高です。

2021年度の資産総額は68億1,998万円、前年度末より178万円の減少となりました。

資産から負債を差し引いた、純資産は65億300万円、前年度末より1億1,475万円の増加となりました。